
梅干し大好き。

かわちや

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

梅干し大好き。

【Nコード】

N4181H

【作者名】

かわちや

【あらすじ】

高熱を出してしまった翼。部活の練習が終わった時間になっても来る気配しない虚与に少しずつ苛々しだし？次から次へとやって来る勧誘に八つ当たりし始めた。

（前書き）

健全ほのぼのラブラブ、番外篇特別企画短編です。駄目文ですがお楽しみ下さいませ。

「こほっこほっこほっこほっこほっこほっ…」

風邪を引いてしまったぜこの野郎…（↑苛々苛々。）

ピピピ…

体温計が鳴った。

《38.9》

38って凄エ高いんですけど…俺ホントに病院行かなくても平気な

のか？

熱も死に繋がるって聞いた事あるし…

「はあ…」

とりあえず…

あいつが来るまで大人しく水分でも取っとくか…。

ゴクゴクゴクゴク…
ゴク…

ミニ冷蔵庫からペットボトルのスポーツドリンクを飲んでまた冷蔵庫に閉まったの繰り返し。

はっきり言って
落ち着いていない俺が居る。

分かってる。
自覚してますよ…虚与さん…さっさと来て下さいよ…部活の練習なんかほっといたさア…

俺の事心配じゃねえのかよ、クソ。苛つく

何故かいつもより凄エ腹が立つ。

自分の気持ちにまだ素直になっていないからな…
まだ駄目だ。

まだ駄目だ。
コンコン…

やっと来やがったか虚与の馬鹿野郎…。

「はい…」

ガチャ

ギイイ…

「こんにちわ。親御さんはいらっしゃいますか？今ですネ皆さんに、仏教の良さを教えて一件一件回っていきまして。仏教とかにはまだ興味は…」

「あー…ありませんねえ…すみません他当たって下さい、親も夜中しか帰って来ないんで失礼します」

ボタン。

―数時間後。

コンコン…

次また勧誘だったらぶちギレすんぞっ（↑苛々苛々）。

ガチャ…

ガ
チャ
バ
タン。

ガ
チャ
バ
タン。

ガ
チャ
バ
タン。

バ
タン。

―数時間後。

コンコン…。

ブチリ。

次また勧誘だったら…？
ガチャ

ギイイ…

！

「っ…翼…？何でそんな怖いで…しかもゆっくりと…」

虚与…！。

ほ…。

ふら…

「わ、ちょ、翼！？」

—数時間後。

トサ…

ガバッ！！

「ハアッハアッハアッハアッハアッハアッハアッ」

.....

俺.....

やっぱり…

今日も独り…か…。

―数時間後（数分後）。

「は…は…は…は…は…は…は」

コンコン…

ガチャ
…

ギイイ
…

「入るよー？翼ー。」

ボタン
…。

「ごめん…ちょっと途中で田仲さんとお母さんに会ってさ。少しばかり長話しちゃった、あははははホントごめんね、翼…」

「こほ…こほっ…こほ…」

「凄い汗…ちょっと待ってて、今氷枕にしてあげるから」

キュキュキュ…

ザ————…

「てかこの水道も駄目じゃん…治しに来て貰わないと…高いんだっけ？」

キュキュ…

「はい、ゆつくり頭起こして…うん大丈夫。後は、」

「虚与…」

「は、はー..」

「じゅっじゅっじゅっ…じゅ……………虚与……………じゅ…」

「大丈夫だよ、俺此処に居るから。此処に居るよ？翼…？」

ギュ…ッ

手を握り締めて来た翼の手に反動を返す虚与。

「は…は…は…は…は…は…は…」

「大丈夫。今日はずっと居るから、今日はずっと一緒だよ翼」

「虚与...」

「翼...」

—翌朝

ピピピ...

《35・6》

「うん全然大丈夫だね。やっぱり梅干しが効いたんだよ、良かったね。また今日からトレーニング再開出来るよ！ね」

「あー確かそんなもの額辺りに貼ってたな。てか…べたべたしてかなり気持ち悪かった。。。」

「前クイズ番組で問題に出されていたのをちゃんと覚えておいたんだ。えっへん。」

「記憶力って良かったっけ？」

「うるさいなあー、でも1日で治って本当に良かった。長引いたらどうしよって心配してたもん、でもやっぱり病院に行っただ方が良いのかな…」

「大丈夫だよー…全然、心配してくれてありがとなおバカ虚与」

「じゃあ今日は最後の休みだから1日ゆっくりしてね。また部活終わったら直ぐに来るから待って」

ドキン。

「お、おう。」

「ついでに今日発売日だからジ○ンプも忘れずに買って来るから楽しみにちゃんと大人しく待っててよね。」

「お、おう。」

「金は、」

「大丈夫だよ、ウチの母さんが特別にって貰ったから。ジ○ンプ代もあるから安心してね。じゃあもう学校行くから鍵、閉めてた方が
良いんじゃない？」

「ん、大丈夫。」

「分かった。じゃあ……………またね…？」

ドキン。

「お、おう。気を付けろよ虚与、ありがとな色々…」

「ん」

ボタン…

⋮
○

そして、

一人こそそこそしている翼を見上げると

口の回りがヤケに真っ赤っかになっていました。

後からの話によると、特にハチミツ梅が好きになったとか。
そのままとかお茶漬けとか、色々沢山一人で口に頬張っていました
とさ？

番外篇特別企画短編終わり。ありがとうございました。
またのお話を楽しみに待っていて下さいな。感想、楽しみに待つ
ています。
必ず返事は返しますよ。

（後書き）

ご感想、楽しみに待っています。必ず返事は返します。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4181h/>

梅干し大好き。

2010年12月30日23時56分発行